

官民連携による気候変動適応事例の紹介

～地域課題を踏まえたまちづくり～

2021年7月30日
ひろぎんエリアデザイン株式会社
代表取締役社長 前田 昭

1. ひろぎんグループについて

- (1) 自己紹介
- (2) ひろぎんホールディングスについて
- (3) ひろぎんエリアデザインについて

2. 広島市の現状について

- (1) 広島市中心部で再開発が進んでいる背景
- (2) 住居の現状
- (3) 大雨災害
- (4) 観光客、ホテルの現状
- (5) 現状と今後の見通し、課題解決策

3. 事例について

- (1) 事例1 ひろぎんホールディングス 新本社ビル
- (2) 事例2 ヒルトン広島

4. まとめ

- (1) まとめ



**ひろぎんエリアデザイン株式会社
代表取締役社長
前田 昭（まえだ あきら）**

1962年 山口県生まれ
1985年 (株)広島銀行入行
個人部長、総合企画部長を経て
2016年 執行役員
2018年 取締役常務執行役員
2020年 (株)イズミ常務執行役員経営企画部長
2021年4月より現職

事業承継・M&A・債権流動化など投資銀行業務、流通業での新規出店プロポーザル案件など地域開発業務 等に従事

1 (2) ひろぎんホールディングスについて

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

➤ 概要

商号	株式会社ひろぎんホールディングス
本社所在地	広島県広島市中区紙屋町一丁目3番8号
事業内容	銀行その他銀行法により子会社とすることができます る会社の経営管理及びこれに附帯関連する一切 の業務 前号の業務のほか銀行法により銀行持株会社が 行うことができる業務
設立年月日	2020年10月1日

➤ 沿革（前身の広島銀行の内容も含む）

1878年11月 第六十六国立銀行設立（本店：尾道市）
1945年 5月 株式会社藝備銀行設立（県内5銀行合併）
1945年 8月 原爆被災
1988年 7月 広島銀行に行名を変更
2020年10月 株式会社ひろぎんホールディングス設立、
広島銀行は同社の完全子会社となる
2021年 4月 ひろぎんエリアデザイン株式会社設立
2021年 5月 新本社ビルがグランドオープン

➤ 経営ビジョン

お客さまに寄り添い、信頼される
地域総合サービスグループとして、
地域社会の豊かな未来の創造に貢献します

➤ グループストラクチャー

会社名

会社名	業務内容
ひろぎんホールディングス	持株会社
広島銀行	銀行
ひろぎん証券	金融商品取引
しまなみ債権回収	債権管理・回収
ひろぎんキャピタルパートナーズ	投資
ひろぎんリース	リース
ひろぎんITソリューション	IT関連
ひろぎんエリアデザイン	コンサル (行政と連携、 まちづくり等)
ひろぎんヒューマンリソース	コンサル (人事労務等)

1 (2) ひろぎんホールディングスについて

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

	~2015年	2016年	2018年	2019年	2020年	2021年	
全般				·2019年9月 ひろぎんグループ SDGs宣言の公表 P.5			·2020年8月 環境・社会課題の解決に 向けた投融資方針の公表 P.6
環境	·2010年～ ひろぎんの里山植樹・整備活動	·2018年～ S&P/JPX カーボン・ エフィシェント指数に選定	·2019年2月～ 無通帳口座 スマートe取扱開始		·2020年3月 TCFD提言への賛同を表明 P.6	·2020年7月 TCFD提言に沿った開示 ·2021年5月 新本社ビルオープン P.23-24	
社会	·2016年4月 せとうちDMOへの参画	·2018年2月 私募REITの組成	·2019年5月 広島オープン アクセラレーター開始	·2020年1月 SDGs取組支援サービス の取扱開始	·2020年4月 広島大学等が認定する ファンドへの出資	·2020年2月～ 新型コロナウイルスへの対応	
ガバナンス	·2015年6月 社外取締役(女性)選任 取締役の任期1年化	·2016年6月 社外取締役 +1名 ·2017年6月 取締役・執行役員に対する 株式報酬制度の導入	·2019年2月(3年連続選定中) 健康経営優良法人に選定 ·2019年9月 ESG金融促進事業 への採択 P.5		·2020年10月 持株会社体制へ移行 (監査等委員会設置会社)		

1 (2) ひろぎんホールディングスについて

2019年9月 「ひろぎんグループ SDGs宣言」を策定

〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言

〈ひろぎんグループ〉は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、**付加価値の高い金融サービスの提供**を通じて、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に貢献してまいります

取組み

SDGsのゴール

地域



- ・地域社会・経済の活性化への取組み



高齢化



- ・高齢化社会に対応した金融サービスの提供



人権



- ・ダイバーシティ・インクルージョン
- ・地域のお客さまが安心して暮らせる社会づくり



環境



- ・地球温暖化・気候変動への対応



2020年1月 「ひろぎん SDGs取組支援サービス」取扱開始

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

2019年9月 ESG金融促進事業への採択

広島銀行が、環境省が実施する「地域におけるESG金融促進事業」の支援先機関として採択

事業の目的・内容

地域金融機関のESG融資の促進を目的として、有望なグリーンプロジェクト等の地域の市場調査、将来性・利益性の掘り起こし、支援先におけるESG要素を考慮した事業性評価及びそのプロセス構築等の支援を実施。

事業にかかる取組み

自動車関連サプライヤーに対するESG要素を考慮した事業性評価の導入を検討。



環境・社会課題の解決に向けた投融資方針

核兵器やクラスター弾等の非人道的な兵器の開発・製造を行う先

人身売買等の人権侵害や強制労働に関する先

石炭火力発電所の新規建設事業

(注)石炭火力発電所について、例外的に取組みを検討する場合は、各國のエネルギー政策・事情やOECD公的輸出信用アレンジメント等の国際的ガイドラインを踏まえ、個別案件毎の背景・特性等を十分に勘案のうえ、慎重に対応。また、災害時等の非常事態における対応等、やむを得ない場合は、この限りではない。なお、炭素回収・貯留等の環境に配慮した先進技術は、温室効果ガス排出量の削減へ向けた取組みとして支援

脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー事業等の気候変動リスクを低減する取組み等

森林資源および絶滅危惧種の保護等の生物多様性保全に向けた取組み等

原則禁止

積極支援

脱炭素化等、サステナブルな社会の実現に向け、適宜見直し予定

TCFD提言への対応

TCFD : 気候変動関連財務情報開示タスクフォース

ガバナンス

実施 取締役会等において、TCFDへの対応状況の確認や今後の対応事項の検討等を実施

戦略

実施 「ひろぎんグループ SDGs宣言」において、SDGsにおける優先的取組事項(マテリアリティ)として「環境(地球温暖化・気候変動への対応)」を設定

実施 環境配慮型融資商品をはじめとした付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、気候変動リスクの低減に向けた取組みを実施

リスク管理

予定 気候変動に起因する移行リスクおよび物理的リスクに係る影響の把握・分析を実施予定

指標と目標

検討 統合的リスク管理の枠組み等における管理態勢の構築を検討

検討 脱炭素社会の実現に向けた指標および目標設定を検討

リスク分析の実施およびTCFD提言に沿った開示の充実を図る

1 (3) ひろぎんエリアデザインについて

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

➤ 概要

商号	ひろぎんエリアデザイン株式会社
本社所在地	広島県広島市中区紙屋町一丁目3番8号
事業内容	<p><u>地域の発展、活性化</u>に関するコンサルティング業</p> <p>中堅、中小企業の経営コンサルティング業</p> <p>地域社会、経済に関する調査研究並びに情報の収集及び提供業務</p>
設立年月日	2021年4月1日

➤ 主な業務実績（広島銀行分含む）

- 広島市平和記念公園レストラン指定管理業務に関与
- ヒルトン広島の誘致を支援
- 広島空港民営化案件に関与
- せとうちDMOの設立に関与
- (株)たびまちゲート広島に資本参加し、他社と共に地域商社事業を展開

➤ コーポレートスローガン

ココロおどるゆたかな暮らしの創造を

➤ 設立の背景・目的

背景

- これまで、ひろぎんグループとして地域活性化・地方創生に積極的に取り組んでいた。
- 地域において、人口の社会減や中小企業の後継者不足等、多くの問題が顕在化しており、地域社会の構造的な課題の解決が求められる状況となっていた。

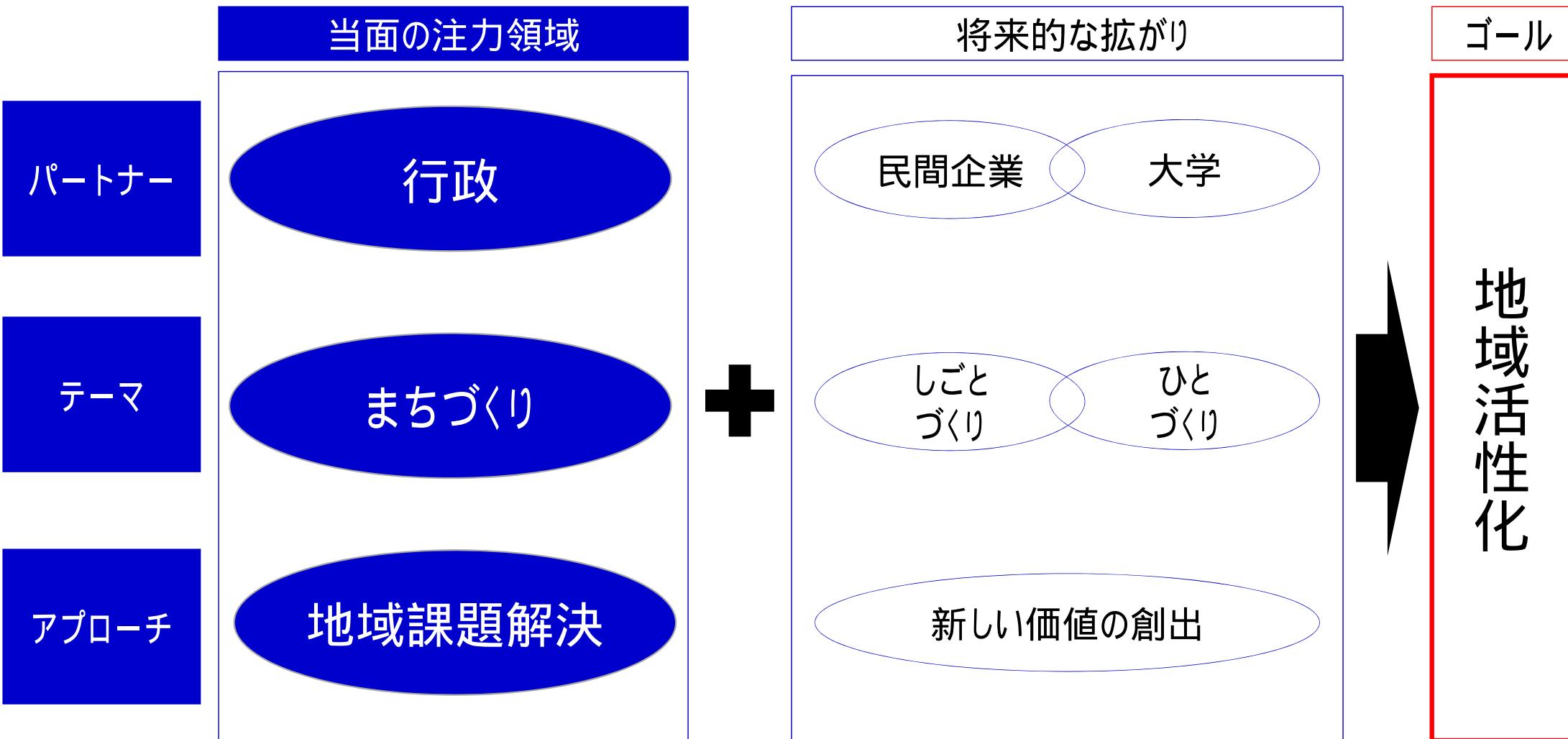
目的

- 専門会社設立により、より地域活性化に向け積極的に取り組んでいくことで、地域社会の根本的な課題解決を図っていく。

1 (3) ひろぎんエリアデザインについて

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

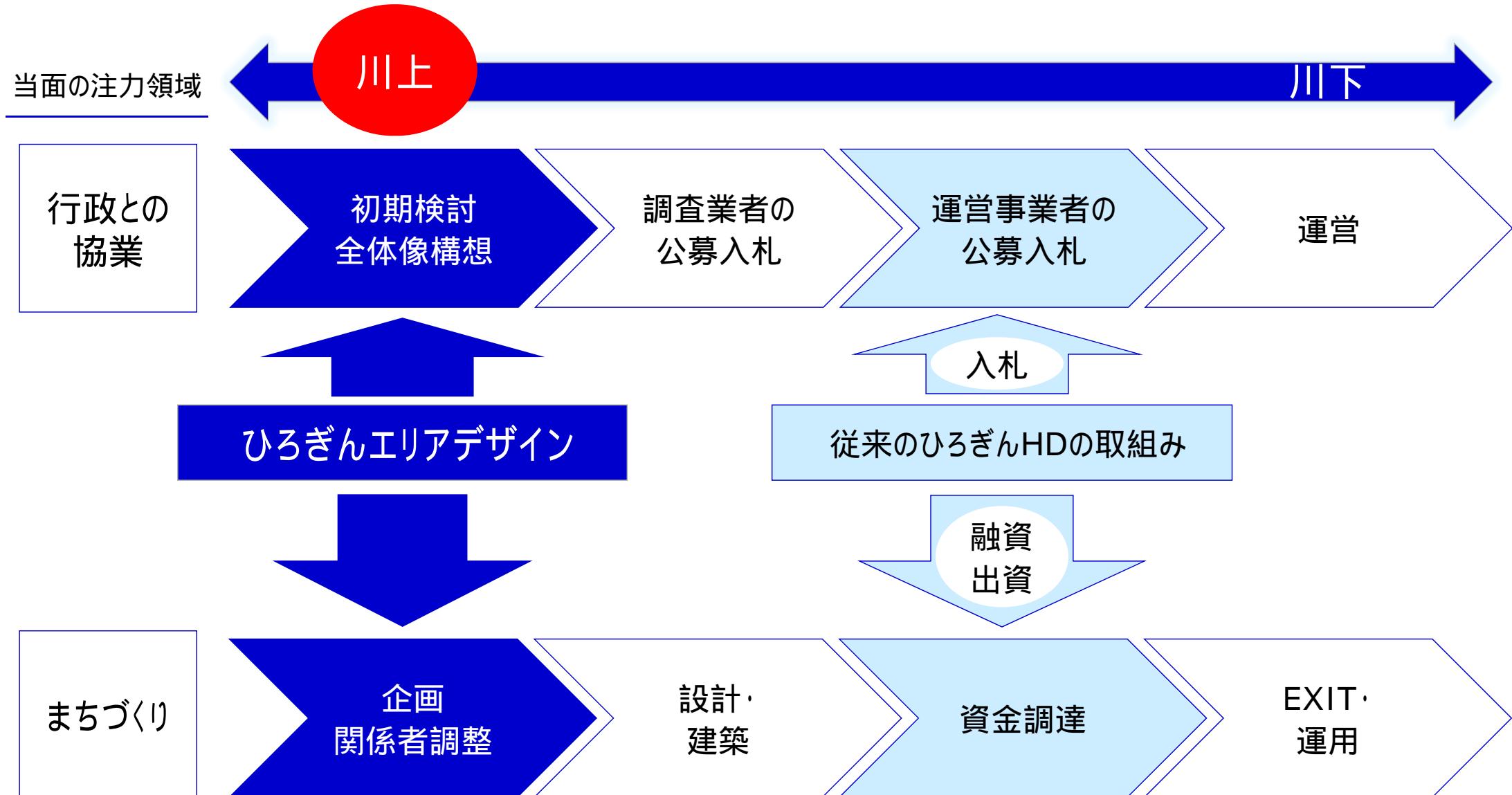
- 当面は行政と共に、まちづくりをテーマに地域課題解決を通じた地域活性化を指向
- 将来的にはパートナー・テーマを拡大し、新しい価値を創出していく



1 (3) ひろぎんエリアデザインについて

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

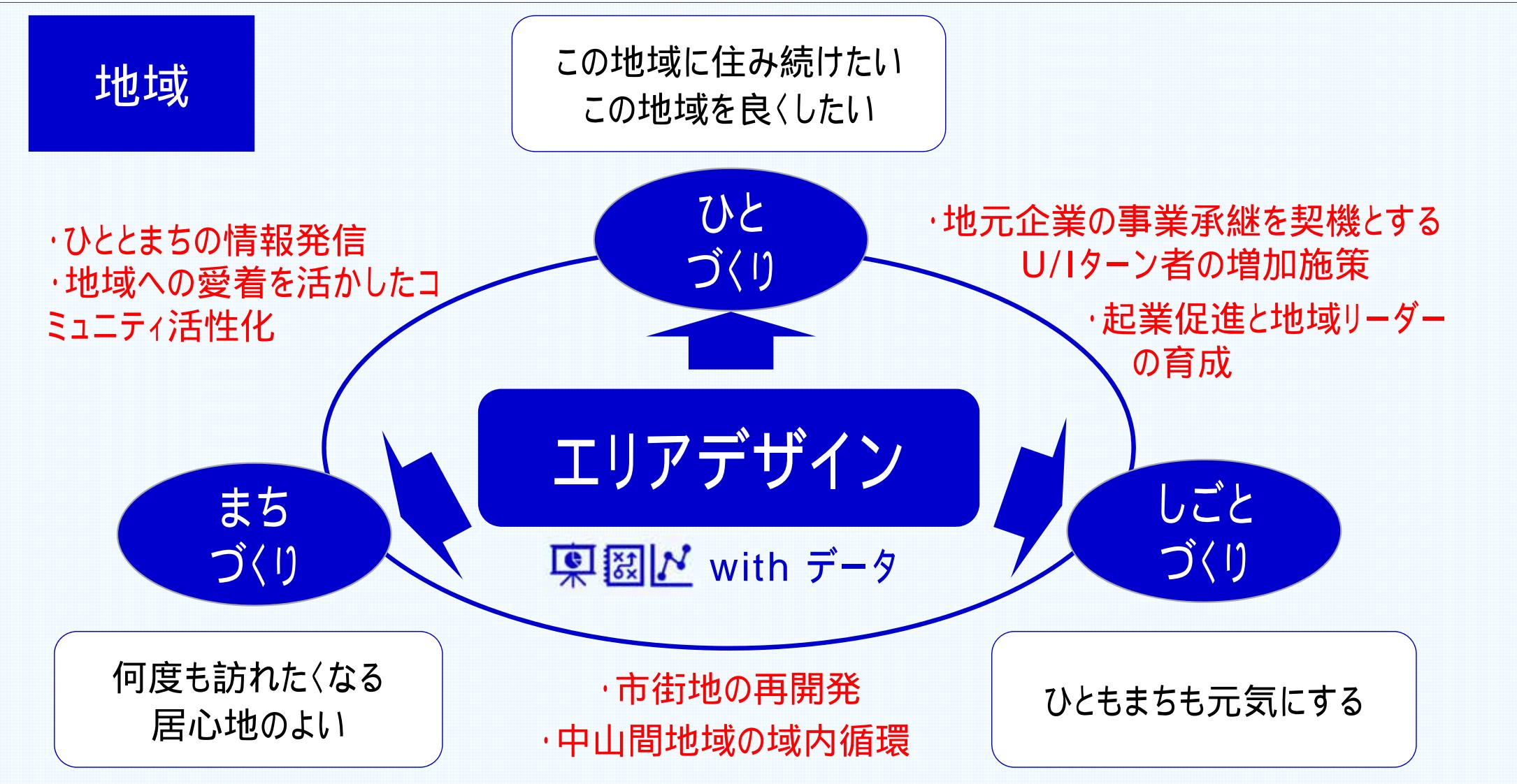
➤ 初期検討や企画など川上段階から関与し、実効性を向上



1 (3) ひろぎんエリアデザインについて

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

- 「まちづくり」に加え、将来的には「ひとづくり」「しごとづくり」へテーマを拡大
- 各領域を有機的に結び付けることで、地域に新しい価値を創造

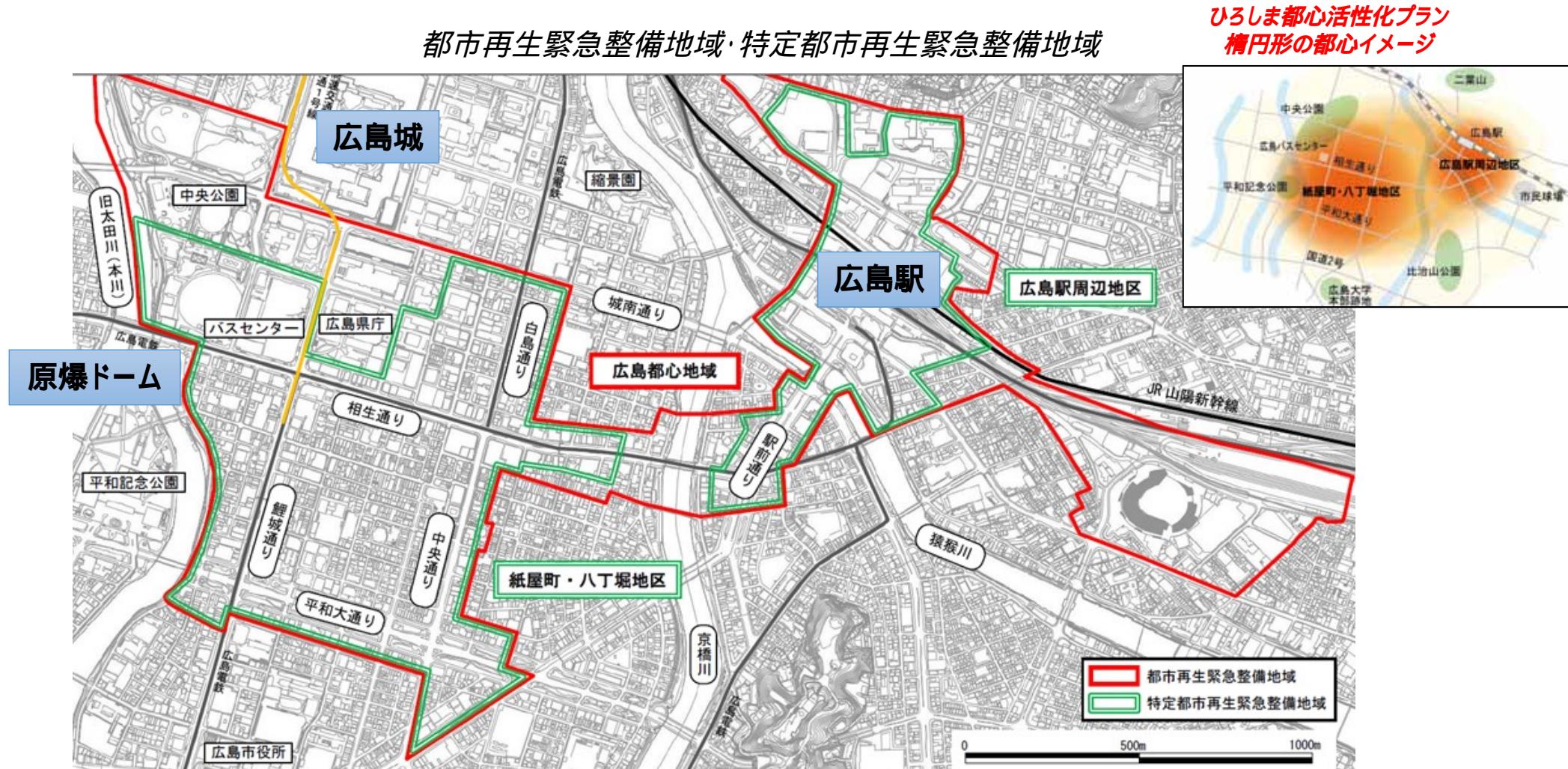


事例ご説明の前に、まずは弊社本店がある広島市の
現状についてご説明いたします。

2 (1) 広島市中心部で再開発が進んでいる背景

1. ひろぎんグループについて
2. 広島市の現状について
3. 事例について
4. まとめ

- 2017年、広島県・広島市が「ひろしま都心活性化プラン」を策定
- 2018年には「紙屋町・八丁堀地域」が都市再生緊急整備地域に、2020年には特定都市再生緊急整備地域に指定され、民間開発の誘致・促進が図られてる



- 特定都市再生緊急整備地域の地域整備方針に、世界に通用するラグジュアリーホテルや高規格オフィスの整備が掲げられている

【都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項（抜粋）】

- 世界に通用する**ラグジュアリーホテル**を始め、都心を訪れる様々な人や企業それぞれの滞在ニーズを踏まえた多様な宿泊機能を充実・強化
- 交通利便性の高い都心幹線道路沿道におけるコンベンション機能を充実・強化
- 新たな価値を生み出す高度人材を世界から惹きつけられるよう、国内外の情報サービス業を始めとした都市型サービス産業、調査・企画や研究開発部門などの本社機能などの誘致に資する**高規格オフィス**の実現等により、業務機能を充実・強化
- 国内外の来訪者等が広島ならではのおもてなしを実感することで更なる誘客につながるよう、都市開発事業で整備されたオープンスペースも活用しながら、多様な交流を図るために商業機能を充実・強化

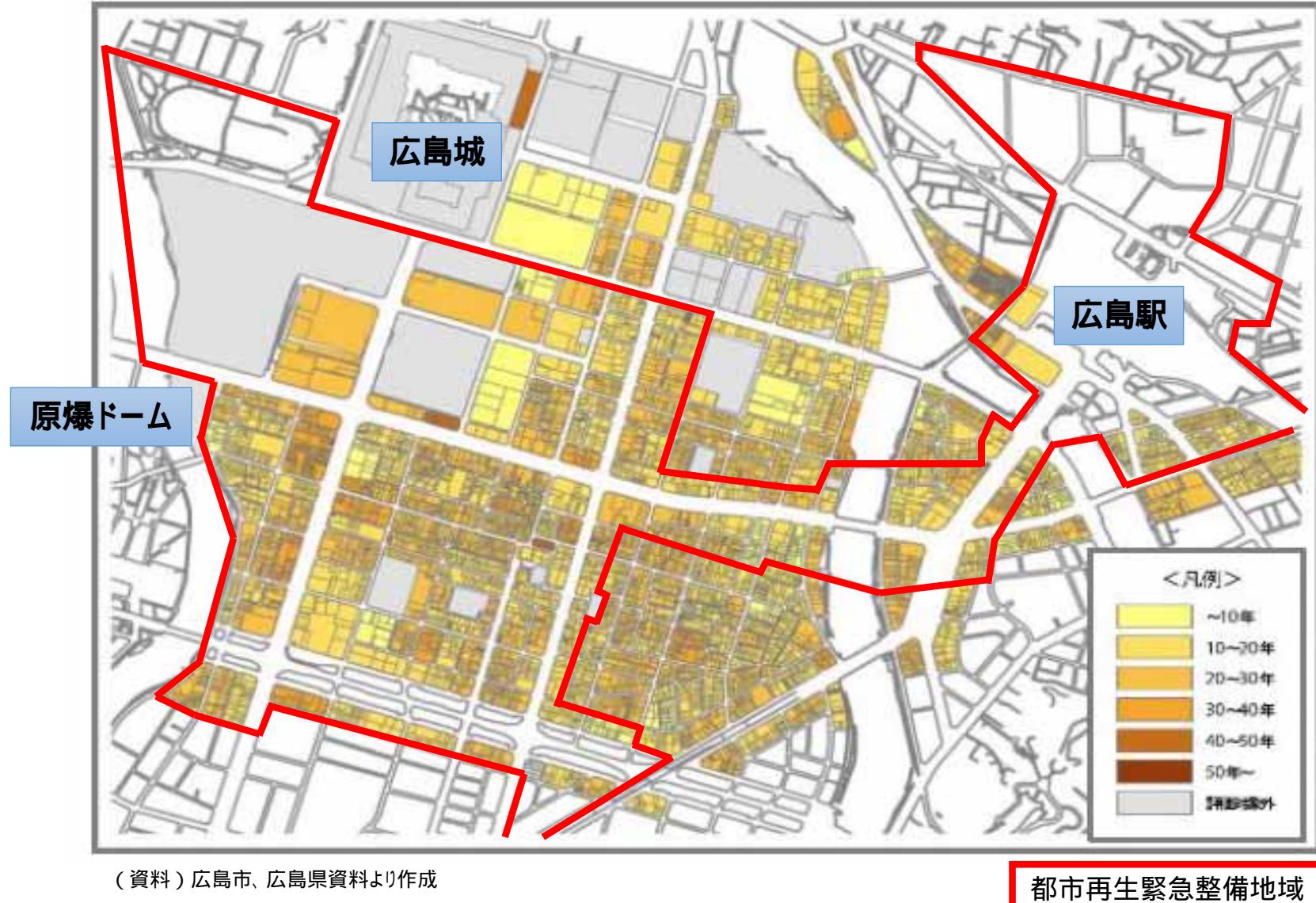
(資料) 広島市

2 (1) 広島市中心部で再開発が進んでいる背景

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

➤ 広島市都心部にある建物の多くは老朽化が進んでいる

広島市中心部の建物の建築年数（街区単位、2014年時点）



2 (2) 住居の状況

- 1 . ひろぎんグループについて
- 2 . 広島市の現状について
- 3 . 事例について
- 4 . まとめ

➤ 丘陵地に開発された住宅団地の多くで、人口減少や高齢化が進展



写真は削除しました

2 (3) 大雨災害

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

➤ 平成30年7月豪雨で土砂災害や河川の氾濫が多数発生

広島県における人的・建物被害の状況

(単位：人、棟)

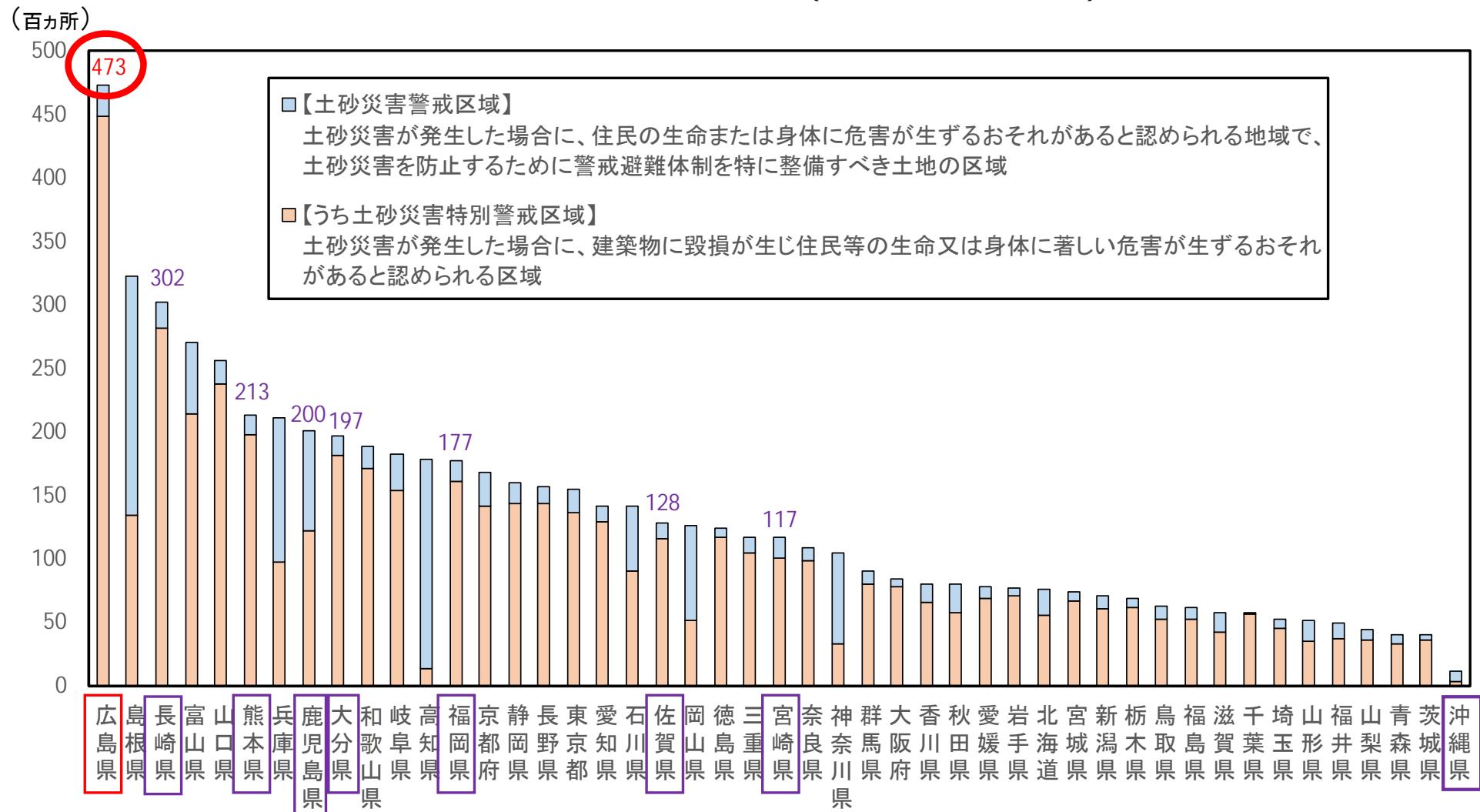
人的被害	死者	137
	不明者	5
	負傷者(重傷)	66
	負傷者(軽傷)	81
住家被害	全壊	1,074
	半壊	3,172
	一部破損	2,062
	床上浸水	3,140
	床下浸水	5,478

(注) 人的被害は2019年6月25日時点、住家被害は2018年9月8日時点

写真は削除しました

➤ 広島県は、土砂災害警戒区域の箇所数が全国で突出

土砂災害警戒区域等の指定状況（2020年3月末時点）



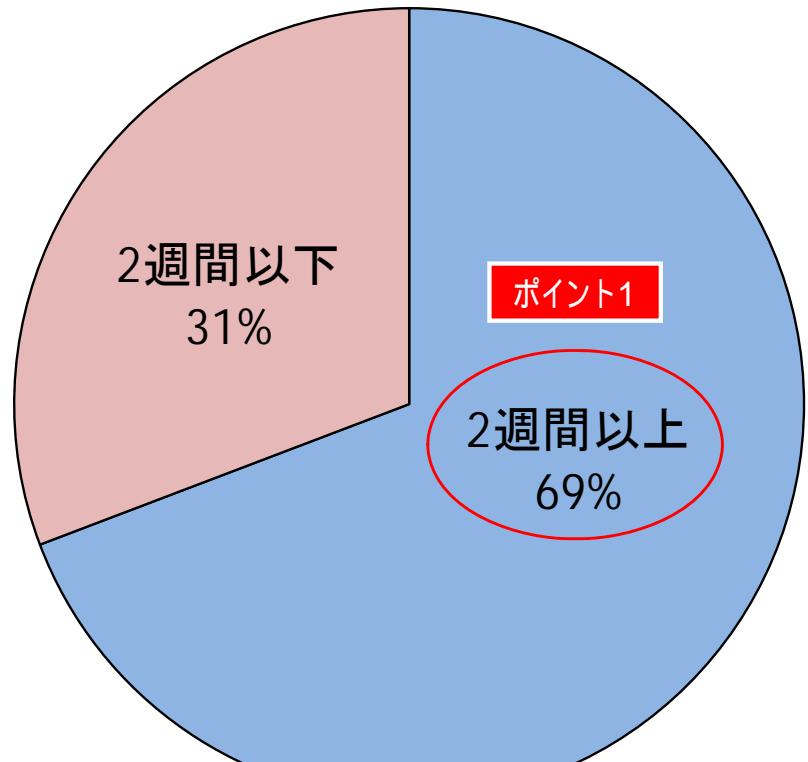
(資料) 国土交通省資料より作成

2 (4) 観光客、ホテルの現状

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

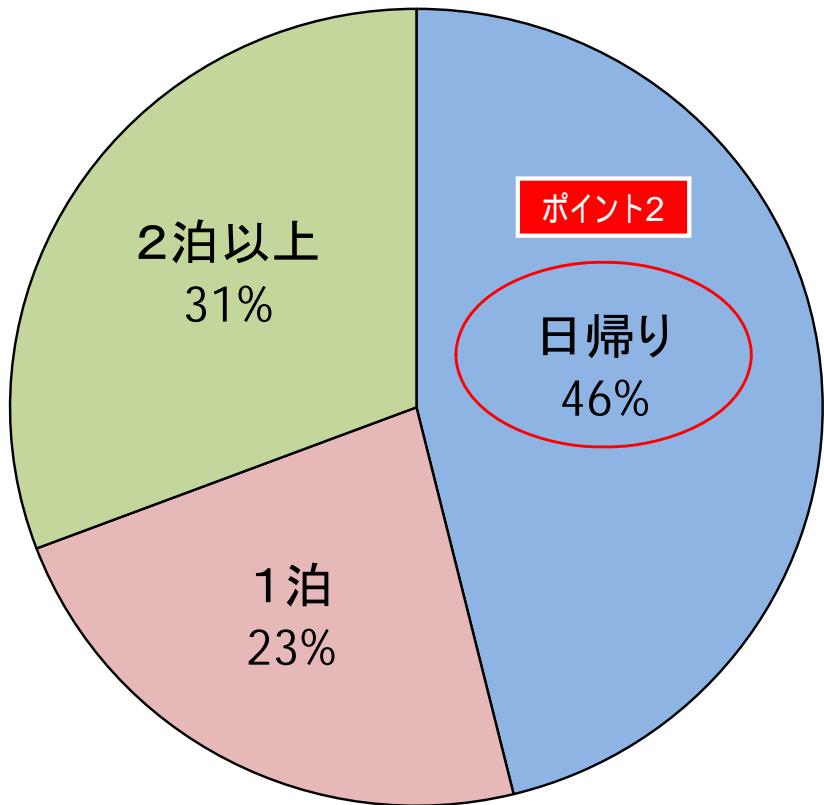
- 広島市を訪れた外国人観光客の多くが2週間以上日本に滞在 ポイント1
- 一方で、広島市滞在は日帰りが約半数と、通過型観光となっている ポイント2

広島市を訪れた外国人観光客の
日本国内滞在日数（2018年）



(資料) 広島市ピースツーリズム推進懇談会「外国人旅行者対象アンケート調査」(2018年)より作成

訪日外国人環境客の広島市滞在日数
(2018年)

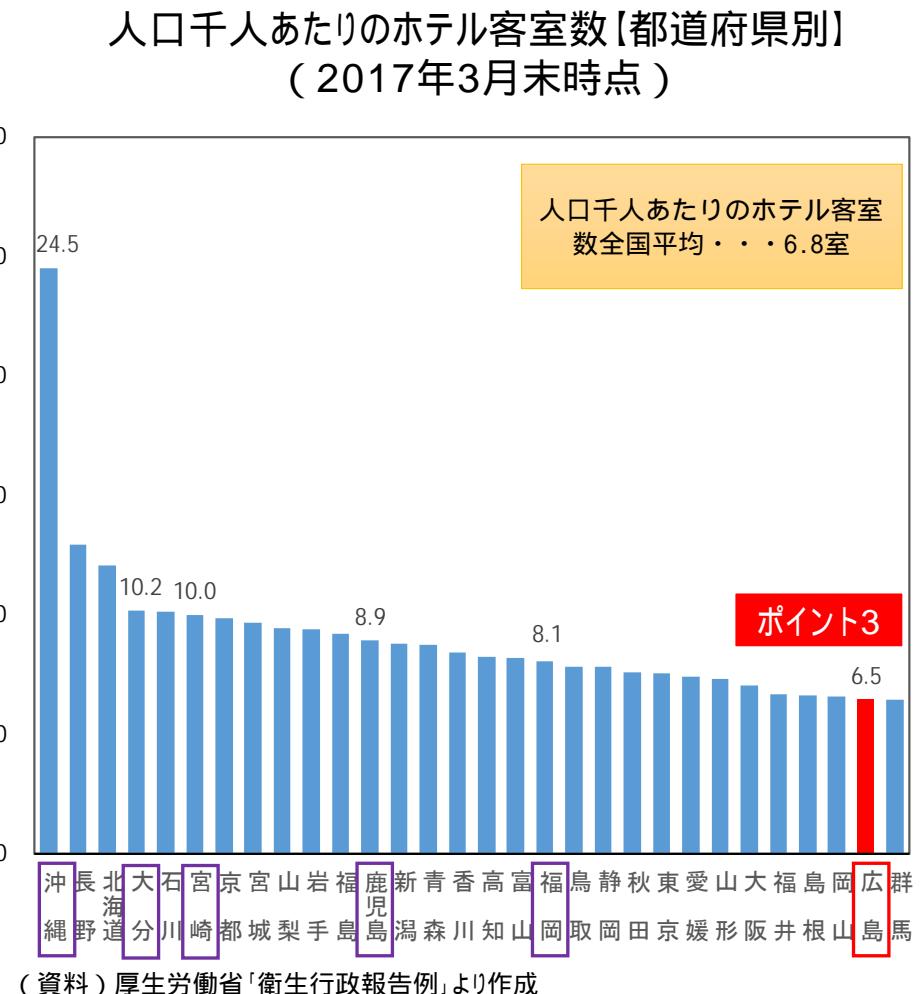
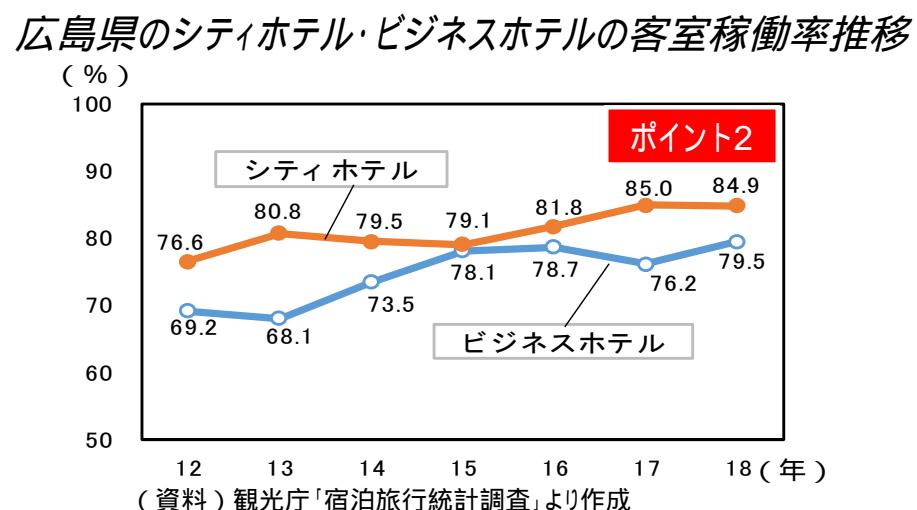
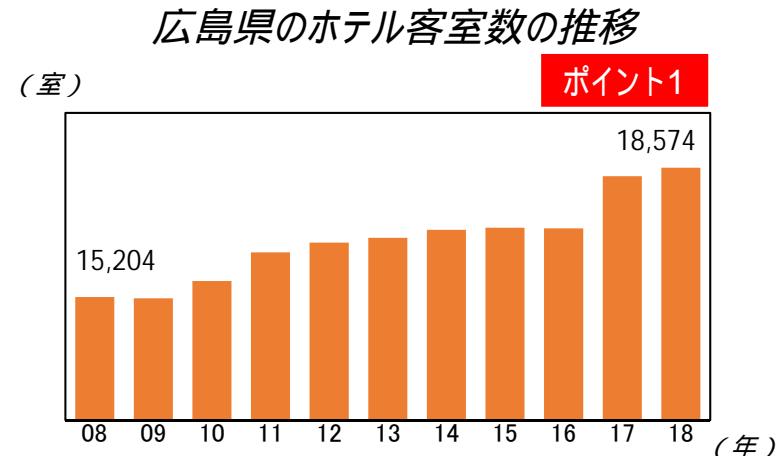


ポイント2

2 (4) 観光客、ホテルの現状

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

- ホテル客室数は増加傾向 ポイント1
- ホテル客室稼働率も高水準 ポイント2
- 人口千人当たりの客室数は低水準 ポイント3



2 (5) 現状と今後の見通し、課題解決策

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

- 現状の課題や見通しを踏まえ、課題解決に取り組んでいく必要性が高まっている
- 再開発のタイミングで気候変動への適応策を実践する

現状の課題

- 老朽化建物の増加
- 郊外住宅団地が多い
- 大雨被害、土砂災害が増加
- 土砂災害警戒区域が多い
- 観光客の滞在日数が短い
- ホテル数が不足

見通し

- 都市再生緊急整備地域の指定に伴う老朽化建物の建替え、再開発の増加
- 居住地域のリロケーション
- 高規格オフィスの開発増加
- 災害に強いまちづくり
- ラグジュアリーホテルの開発増加

2 (5) 現状と今後の見通し、課題解決策

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

課題認識

環境・防災面

観光面

大雨被害、土砂災害が増加
土砂災害警戒区域が多い

観光客の滞在日数が短い
ホテル数が不足

官民連携で
課題解決

解決策

災害に強いまちづくりに向け、
まずは自社オフィスに高い水準の
環境・防災性能を備える

広島県等と連携し、ラグジュア
リーホテル誘致を支援

事例 1

事例2

それでは、事例をご説明します。

3 (1) 事例1 ひろぎんホールディングス 新本社ビル

1. ひろぎんグループについて
2. 広島市の現状について
3. 事例について
4. まとめ

- 国土交通省より「民間都市再生事業計画」に認定
- 都市機能の更なる充実・強化を進め、中国地方の中核都市としての機能を強化
- 敷地内緑地の設置など、国際平和文化都市にふさわしい賑わいと交流を創出
- 歩行者空間を拡張し、都市の回遊性を向上



敷地面積	4,452.71m ² (1,346.94坪)
延床面積	43,929.49m ² (13,288.67坪)
階数	地上19階、地下1階 他
主要用途	オフィス、駐車場

3 (1) 事例1 ひろぎんホールディングス 新本社ビル

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

- 「熱・水・光」対策を徹底することで環境負荷を積極的に低減
- 万一の災害発生時に備えて、万全のBCP体制を構築

熱

- ① 風の塔（エコボイド：重力換気）
- ② 空気式放射空調
- ③ 床による日射遮断
- ④ 地中熱利用ヒートポンプ
- ⑤ BEMS
- ⑥ 小型ガスコーチェネレーションシステム

水

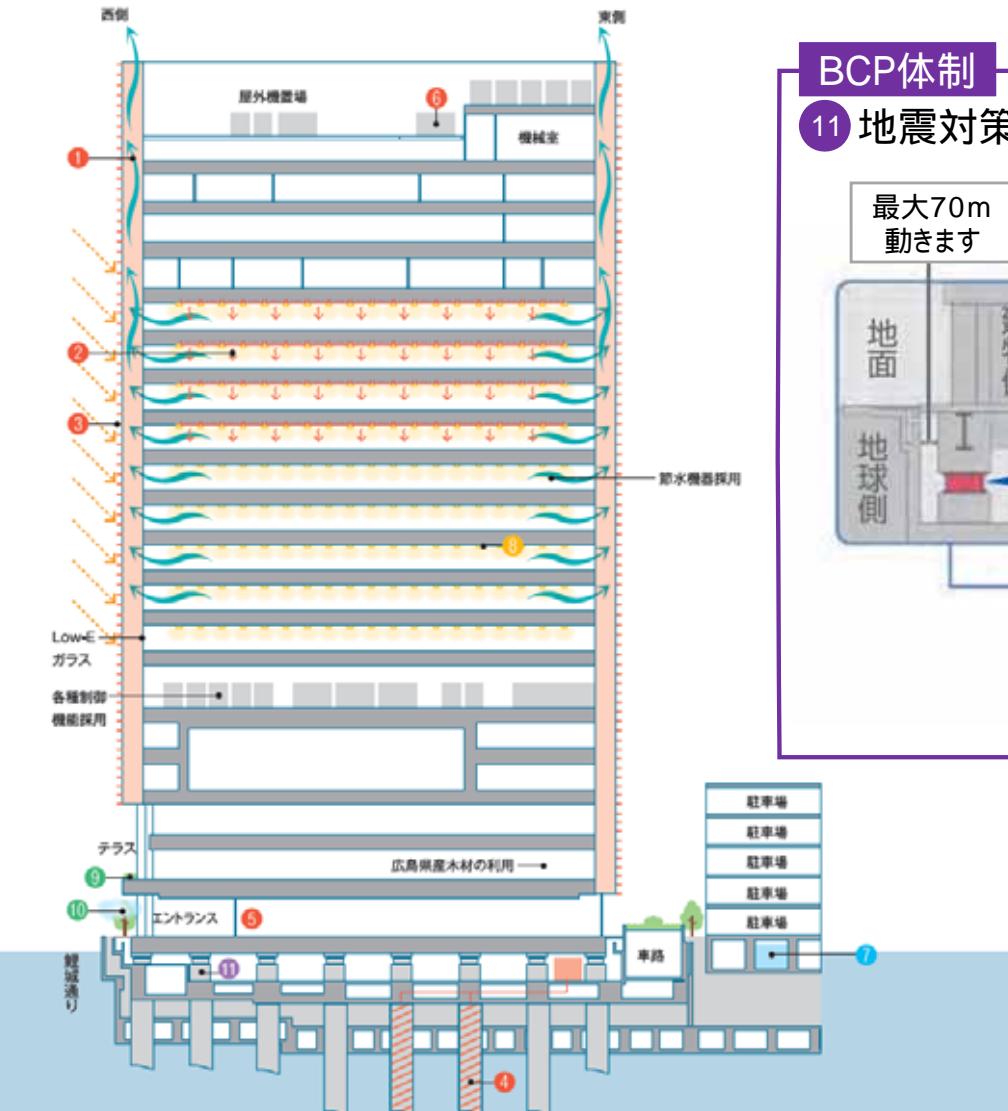
- ⑦ 雨水利用

光

- ⑧ LED照明

ヒートアイランド抑制

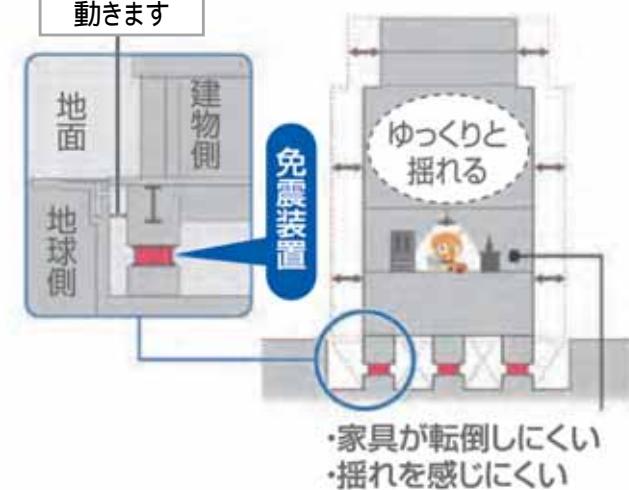
- ⑨ テラス緑化
- ⑩ ミスト散布



BCP体制

11 地震対策

最大70m
動きます



以下は左図に表示なし

- ⑫ 停電・断水・ガス途絶等の対策
- ⑬ 洪水・津波・高潮対策
- ⑭ 非常事態対策拠点の設置

3 (2) 事例2 ヒルトン広島

1. ひろぎんグループについて
2. 広島市の現状について
3. 事例について
4. まとめ

- 地上22階、客室数420室のフルサービスホテル
- 国際会議が開催可能なコンベンション施設を備えている
- 広島市の高次元都市機能の強化や、観光振興への貢献を目指している



(資料) (株)瀬戸内ブランドコーポレーション

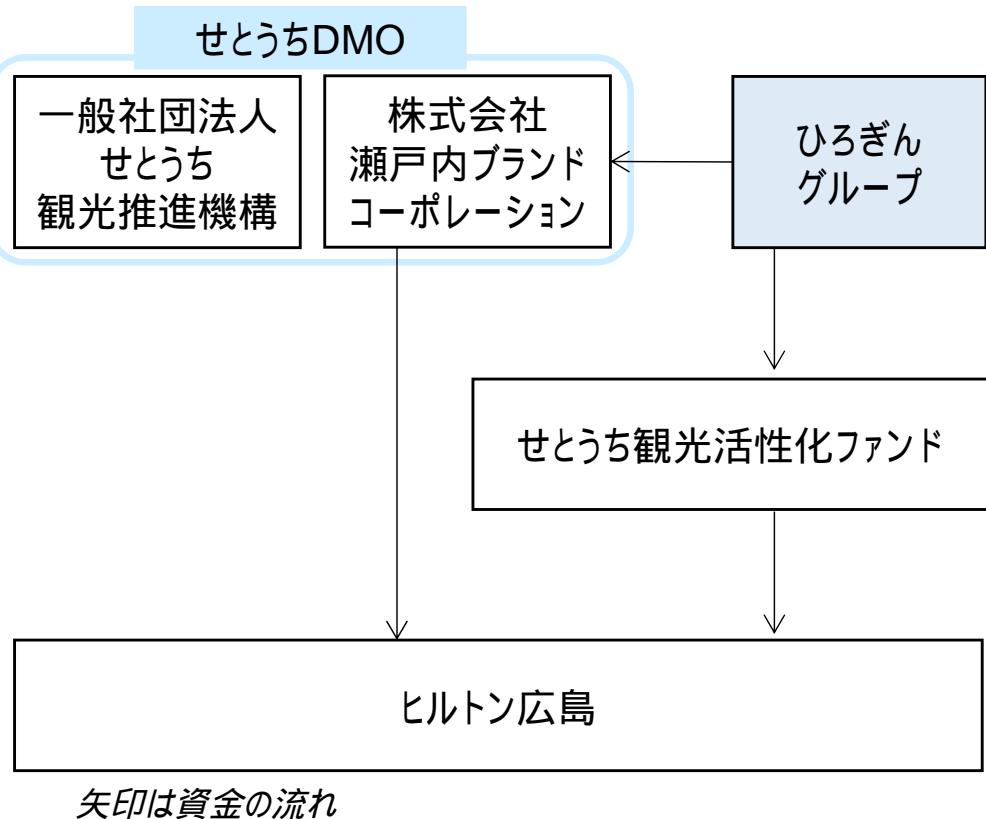
敷地面積	6,403m ² (1,940坪)
延床面積	48,027m ² (14,553坪)
階数	地上22階
主要用途	ホテル、コンベンション施設

3 (2) 事例2 ヒルトン広島

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

- 広島県が県有地活用を検討する中、関係事業者と連携し再開発事業を支援
- 環境へ配慮し、低炭素で災害に強い都市づくりをテーマに掲げ事業を実施

事例スキーム



再開発事業の特徴

防災・環境に配慮したまちづくり

- 低炭素で災害に強い都市づくりをテーマに掲げ再開発事業を実施
- 省エネルギーによる費用削減に資する設備を導入

地域に根ざした再開発・観光事業

- 自治体、地元企業と連携し、地域活性化に資する取組みを実施

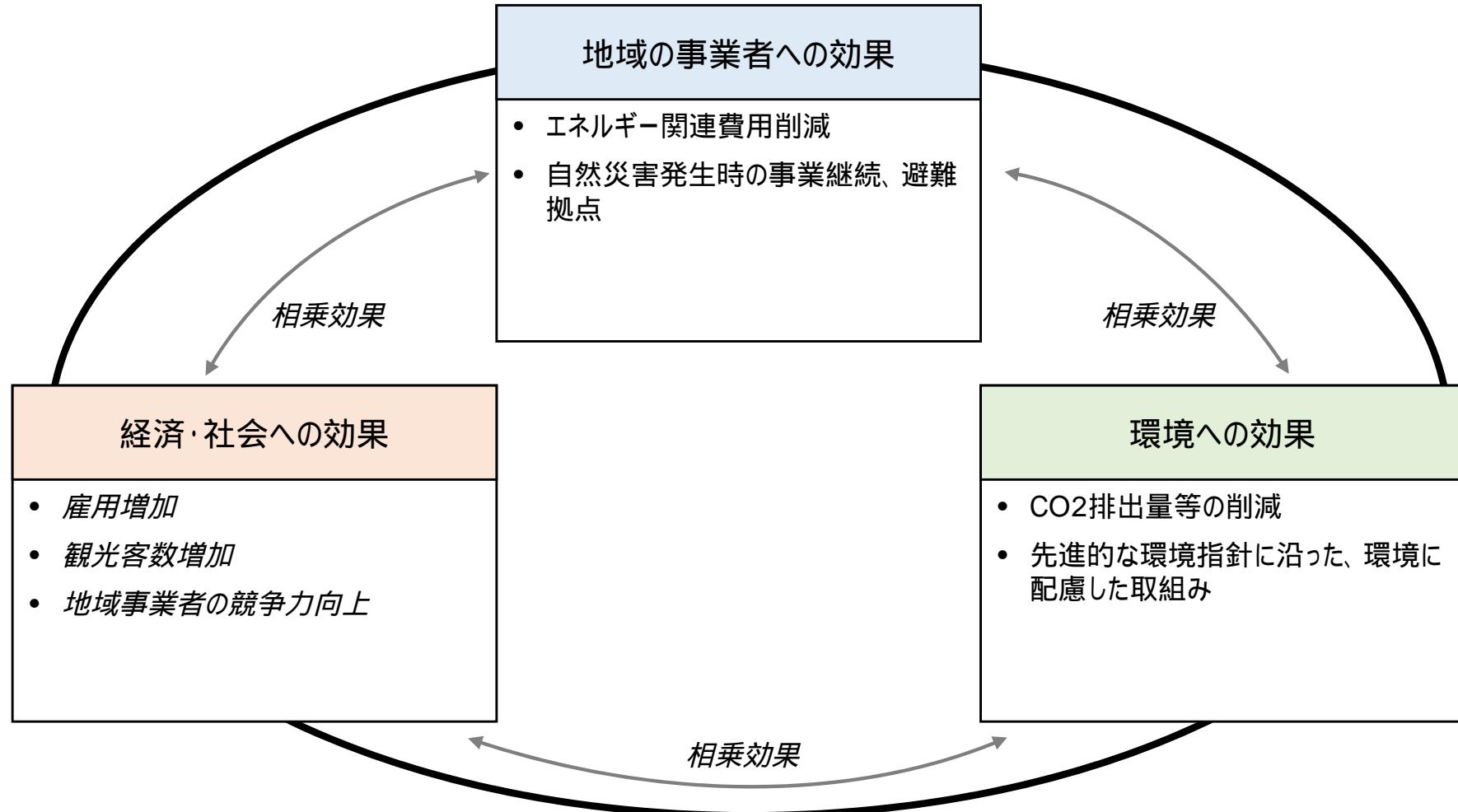
国際的な環境動向の把握

- 世界的ホテルブランドであるヒルトンを誘致することにより、プラスチック規制等の国際的なトレンドを把握
- 代替品の供給等で新たな地域産業活性化の契機となる可能性

3 (2) 事例2 ヒルトン広島

- 1. ひろぎんグループについて
- 2. 広島市の現状について
- 3. 事例について
- 4. まとめ

➤ 経済・社会や環境への好影響等を見込む



官民連携により、気候変動に適応しながら、地域社会の課題

解決に取り組むことで、地域の持続可能性を高めていく

(1) 防災・環境に配慮したまちづくり

(2) 地域の活性化に資する観光再開発

ご清聴ありがとうございました

〒730-0031 広島市中区紙屋町1丁目3 - 8

ひろぎんエリアデザイン 株式会社

<https://www.hirogin-areadesign.co.jp/>

